

## 「第 2 期仙台市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗状況について

まちづくり政策局

### 1 概要

平成 26 年 12 月、国において、まち・ひと・しごと創生に向けた 5 か年計画の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定され、令和元年 12 月に後継として第 2 期戦略が策定された。本市においては、こうした状況に合わせ、平成 28 年 3 月に「仙台市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、令和 3 年 3 月には国の第 2 期戦略の趣旨を踏まえた「第 2 期仙台市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「第 2 期総合戦略」という。）を策定して、人口減少対策や地方創生の取り組みを進めてきた。

「第 2 期総合戦略」は、令和 3 年度から令和 5 年度を計画期間とし、「第 1 部 総論」、本市の将来人口推計を含む「第 2 部 人口ビジョン」、及び基本目標を掲げる「第 3 部 第 2 期総合戦略」で構成されている。人口ビジョンにおいては、2070（令和 52）年頃には本市の人口は 86.8 万人へ減少するとの見通しを示し、総合戦略においては、「地域企業の活性化」「交流人口の拡大促進」「若者の定着と起業・創業」「安心して結婚・出産・子育てできる環境づくり」「持続可能でしなやかなまちづくり」「地域特性に合わせた多様な主体が活躍できる社会づくり」の 6 つを基本目標として掲げ、目標達成に向けた基本的方向や主な施策などを定めている。

基本目標や主な施策については、それぞれ数値目標や KPI（重要業績評価指標）を設定しており、これらの客観的な指標により毎年進捗状況等を評価し、効果を検証するとともに仙台市経営戦略会議に報告し、公表することとしている。

### 2 令和 3 年度末時点での進捗状況

#### (1) 6 つの基本目標と対応する数値目標の状況

資料 2 - 2 のとおり。

「交流人口の拡大促進」については、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けているが、その他の目標については、おおむね順調に進行している。令和 5 年度の目標達成に向け、今年度も引き続き事業に取り組む。

#### (2) 国の交付金を活用した事業の達成状況

令和 3 年度は、第 2 期総合戦略に関連する 10 事業において、地方創生に関する国の交付金（地方創生推進交付金）を活用した。各事業は成果・進捗目標として複数の KPI を設定しており、達成状況は資料 2 - 3 のとおり。

令和 3 年度からの新規 4 事業については、着実に事業を開始し、おおむね目標を達成した。目標に満たない事業は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、対策を検討しながら 2 年目以降の事業を進めていく。

令和 3 年度に計画期間を終了した 6 事業については、目標に満たない KPI もあったが、大幅に目標を上回るものもあった。一部の事業は、令和 4 年度から後継事業に取り組むこととなっており、これまでの成果を踏まえ、発展的に事業に取り組んでいく。